

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター れいんぼ～		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フォーマルアセスメント (Vineland- II など) とインフォーマルアセスメント (れいんぼ～独自の評価) に基づいた療育支援	根拠に基づいた支援を行い、日々の活動ごとに評価 (モニタリング) を行っています。	インフォーマルアセスメントの充実アセスメント結果の有効活用
2	専門職によるチーム支援	専門職がそれぞれに支援をするのではなく、同じ活動に様々な専門職が同時に関わることで多角的な視点を持てるようにしている。 ミーティングではそれぞれの専門性を生かしてよりよい支援に向けて意見交換をしている。	専門性の高い職員の育成 チームアプローチ力向上のための研修の実施
3	充実した保護者支援プログラム (勉強会、ペアレントトレーニング、支援ツールワークショップ)	保護者の方のニーズに応じた支援プログラムを用意し、日々の子育てに役立つ内容を取り入れている。 保護者同士の交流ができるように心掛けている	きょうだいに向けたプログラムについての検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	れいんぼ～の各種マニュアルや安全計画について保護者への周知が不十分。	マニュアルや安全計画について保護者との間で話題にすることが少ない。	れいんぼ～通信などを通じて、こまめに情報を伝えていく。
2	利用者数の増加に伴い、活動によっては空間の狭さを感じる。	利用者の特性に合わせた空間 (環境) の配慮により手狭に感じる時がある。	常に環境の見直しを行いながら、利用者の特性や集団に合わせた空間が確保できるように工夫をしていく。
3	高崎市の自立支援協議会のなかに子どもに関連する部会がなく、地域の課題について共有、検討が難しい。	地域の課題を話し合う場がなく、事業所同士のつながりが弱い。	地域の事業所と積極的に連携をしながら地域の課題等を検討する機会を設け、市町村と協議ができるように努める

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター れいんぼ〜

公表日 2026年 3月 13日

利用児童数 82名 2026年 2月 1日 回収数 57

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	3	0	0	・少し狭い印象です。	活動の目的に合わせ、空間を工夫し対応 をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	55	0	0	2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	56	1	0	0	・子どもが意欲的に取り組める環境だな といつも思っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	56	1	0	0	・庭の虫が多い。部屋少し狭い印象。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	56	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	56	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	55	1	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	57	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	55	1	0	1	・毎週違うプログラムに取り組んでおり、毎回新鮮だと感じています。 ・毎回様々なプログラムを計画して頂き感謝しています。	子どもたちが「楽しい」と感じられる活動になるように工夫をしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	32	3	8	13		
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	57	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	56	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	55	0	0	2	・「構造化」がテーマの勉強会が特に良かったです。定期的な開催が大変ありがたいです。 ・勉強会も充実していて、支援ツールの作成もできて大変ありがたいです。 ・いつもわかりやすい研修会に参加できて、有難いです。 ・勉強会の内容が毎回、参加者に合わせて考えていただいており、楽しみにしていました。 ・ペアトレや勉強会を行って頂き大変有難く思います。今後もそのような機会があると有難いです。 ・参加したい気持ちはあるが、なかなか参加できていないのが残念 ・ペアトレ、研修会等充実しておりとても助かりました。今後もお願いします。	保護者の皆さまの子育ての一助になるようなプログラムを考えています。今後も保護者に方々のニーズを踏まえながら、充実した内容になるように準備をしていきたいと思います。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	57	0	0	0	・先生の方から積極的に話しかけて下さり、不安や心配が大きくなる前に対応いただけています。	

護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	55	1	0	1	・子どものことを相談するとの確かなアドバイスをいただけてありがたいです。 ・定期的な見学、面談、相談にいつも乗って頂き、有難いです。 ・相談しやすい環境でとても助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	0	0	0	・とても！！	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	6	7	22	・きょうだい向けイベントがあるなら知りたいです。 ・親子通園で夏休みなど長期休暇の時は上の子連れて見学(時には一緒に参加)しました。ありがたかったです。 ・ベアトシや勉強会や保護者の待合室にて情報交換ができました。きょうだい支援はわかりません。 ・保護者同士の交流はなかなか出来る機会がないと思う。 ・兄弟同士の交流はなかなかむずかしいと思う。	保護者会や兄弟プログラムは行っていませんが、今後検討をしていきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知されていますか。	51	3	0	3	・いつも対応ありがとうございます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	57	0	0	0	・連絡帳やお迎えの際に個別にお話しを頂けて、子どもの様子がわかるのが良い。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	45	4	0	8		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	0	1	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	5	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43	3	1	10	・分からない ・定期的に避難訓練がある様子で、子どもたちを守って頂けそう。	避難訓練は事業所全体として毎月行っていますが、実施曜日や時間を調整し、クラス単位では年2回の実施となっています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	1	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	50	0	0	6	・何が子どもにあれば電話も頂けるので、安心して毎回預けられている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	56	1	0	0	・毎週親も子どもも安心して楽しく通園させて頂いています。見学も相談も随時して頂き、有難いです。来年度も通園予定ですが、よろしく願いたい所存です。 ・とても楽しみにしています。先生方が大好きです。 ・安心して通える時と不安が勝ってしまうときがある様子。 ・安心出来るよう工夫して頂き感謝しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	54	2	0	1	・「今日はいんぼ～行くよ」と伝えると「はあい！」と飛び上がって喜んでくれます。 ・とても楽しみにしています。 ・不安が勝ってしまう時がある反面、楽しみでもある様子。 ・他所を嫌がる位はいんぼ～に行きたがりです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	56	1	0	0	・満足しています。いつもありがとうございます。 ・とても楽しみにしています。 ・いつもありがとうございます。	今後とも満足いただける支援が提供できるように努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター れいんぼ〜				公表日	2026年 3月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	3	清掃に関しては業者に委託し、定期的な清掃を行っている。 活動内容や利用者の状態に合わせて空間を工夫している。	床材の剥がれや壁面の汚れなど目立ってきている。 クラスが同時に運営する日は活動場所の確保に難儀することがある。 にぎやかな環境が苦手な利用者に対し、十分な配慮ができないことがある。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1				
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	10	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	3		機会があれば参加するようにしています。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	4		併行通園をしている利用者が多いため、あえて交流の機会は設けていません。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2		きょうだいプログラムは今後検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		